



Sun Java™ System Access Manager



Liberty Alliance仕様に対応したセキュアな
アクセス管理とシングル・サインオン基盤を実現



Sun Java™ System Access Managerは、組織内でユーザや、ネットワーク・アプリケーションへのアクセス、そして提供するWebサービスなどに対するセキュリティ管理を、イントラネット / エクストラネットを問わず可能にする製品です。

Sun Java System Access Managerは、セキュアな状態でビジネスの情報提供を可能にし、Webシングル・サインオンによりユーザビリティを高め、また、ビジネス・パートナーや顧客との緊密な連携により新しいビジネス・チャンスを創造する連携認証フレームワークの提供など、拡張性の高いアクセス管理サービスを実現することで、企業に求められる、さらなる経済力、組織力、そして核となる競争力を支援していきます。

Sun Java System Access Managerは、ロールやルールに基づいたアクセス・コントロール機構を採用し、ネットワークのユーザに対するアクセス・ポリシーの集中化を容易にします。また、Sun Java System Directory Serverに蓄積されるポリシー情報と認証情報は、持続的な可用性とパフォーマンスにより、大規模なトポロジーの実装が実現可能です。Sun Java Enterprise Systemのコア・コンポーネントとして、Sun Java System Access Managerは、インテグレーションに必要な時間とコストを削減しながら企業における認証管理基盤の提供、そして、シームレスかつセキュアなアクセス環境を実現します。

Highlights

セキュアなビジネス・インフォメーション提供のために必要な、柔軟で拡張性に富んだアクセス管理。Webはもちろん、それ以外の環境に対しても適用可能

Webシングル・サインオンにより、優れたユーザビリティとアクセス基盤を実現

Liberty Alliance フェーズ2のスペックとSecurity Assertions Markup Language (SAML) 1.1をサポート

企業ネットワーク基盤ソフトウェアの導入 / 実装 / メンテナンスを劇的に簡素化するSun Java Enterprise Systemのための認証およびセキュリティ基盤を提供

Sun Java System Web Server、Sun Java System Application Server、BEA WebLogic Server、IBM WebSphere Application Serverなど広範囲のアプリケーション・サーバをサポート

Sun Java System Access Managerは、社内や社外のB2B(企業間電子商取引: Business-To-Business)バリュー・チェーン全体におけるWebアプリケーションへのセキュアなアクセスを企業に提供するアクセス基盤であり、オープン・スタンダードをベースにした認証機構とポリシー・ベースの認可機能を提供する統合フレームワークです。

- 現状のニーズと、この先成長が見込まれるビジネス・ニーズに応えることを可能にし、アイデンティティ情報やアプリケーション情報をセキュアに提供
- 企業のあらゆるWebアプリケーションに対してシングル・サインオンを実現可能で、ユーザの操作性を向上
- 信頼性の高いネットワークをパートナー / 納入先 / 顧客に提供し、リレーションシップを深めることでビジネス機会を創出する基盤の構築に貢献

Sun Java System Access Managerは、アクセス管理やアイデンティティ情報の個別管理が必要な商用アプリケーションや、独自アプリケーションの利用で増え続けていくアイデンティティ情報の管理を行います。Sun Java System Access Managerは、ユーザへのアクセス権限の定義と適用に必要な煩雑な管理業務を一掃し、セキュリティ・リスクを低減します。さらに、複雑に関連した企業内のユーザ情報 / アイデンティティ情報 / 個人情報の管理を行い、業界の条例への準拠、政府が定めた法規制の遵守を支援します。

Sun Java System Access Managerは業界に先駆け、Webサービスにおけるシングル・サインオン関連の仕様を定めたLiberty Allianceのフェーズ2であるID-WSF (Liberty Identity Web Services Framework) と、SAML 1.1仕様に準拠し、今必要な認証サービスと、成長を遂げていく企業のWebサービス・セキュリティ基盤をサポートします。

Sun Java System Access Managerは、拡張性と堅牢性に優れたオープンなJ2EE™ (Java 2 Platform, Enterprise Edition) をベースとし、以下の機能を実現します。

- 分散認証を実現し、内部や外部のドメインに対するアイデンティティ・サービスを提供します
- 保護されたリソースの価値に応じて、ユーザに付与される認証条件が適切であることを確実にします
- 権限のあるユーザだけが特定のリソースへのアクセスが可能になり、不正なユーザからのアクセスを遮断し、リソースの保護を確実にします
- 企業のWebアプリケーションへのシングル・サインオンを提供し、業務効率を向上します
- 認証の試行 / 承認 / 変更 / 全アクセス行動を把握し、法規制で定められた監査要件への遵守を支援します



Sun Java System Access Managerは、シームレスでセキュアな企業内外のアクセスを可能にするためのシステム構築と統合に必要な時間とコストを削減します。

利点: リスクの最小化と新たなビジネス・チャンス

Sun Java System Access Managerは、新たなコストやセキュリティ・リスクの発生を抑制しつつ、Webの利用による新たなビジネス・チャンスを提供します。

セキュリティの向上

認証機構の一元化 / RBAC(職務ベースのアクセス管理: Role-Based Access Control) / シングル・サインオンにより、全てのWebアプリケーションに対して効果的で拡張性を備えたセキュリティ・モデルを提供します。このセキュリティ・モデルが、重要なアイデンティティ情報であるプライバシーとセキュリティを保護しつつ、確実な情報交換とトランザクション

を実現します。Sun Java System Access Managerは、不正な侵入やアクセスをリアルタイムで検出しリソースを保護します。さらに企業全体のユーザ認証を可能にし、明瞭な定義 / 再利用、監査が容易に行えるセキュリティ・プロセスを構築します。

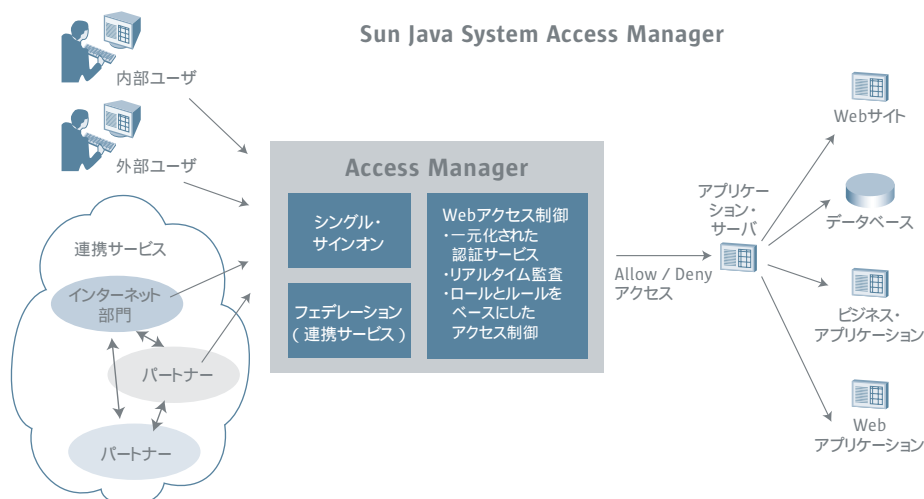
ユーザビリティの改善

シングル・サインオンが、速やかなアクセス実現の障壁

となっている複数システムへアクセスする際に必要なシステム毎に必要なサインオンを一掃します。Microsoft Windowsを含む異機種混在環境に対応したシングル・サインオンを提供することで、Sun Java System Access Managerは認証と認可の過程を簡素化し、セキュリティを保ちつつユーザビリティを改善します。デバイスに依存しないシングル・サインオンの利点を最大限に活かし、場所 / デバイス / 時間に捕らわれず、セキュアに保護された情報への容易なアクセスを実現します。

新たなビジネス・チャンス

Sun Java System Access Managerは、Webサービスを利用した新たなビジネスにより、従来のビジネス・パートナーシップを更に深めつつ新たなパートナーシップを生み出し、結果的に新たなビジネス・チャンスの創造が可能な、優れた信頼性を持つネットワークの効率的な構築を可能にします。ユーザ認証 / 認可 / シングル・サインオンに必要な、一貫性 / 拡張性 / 柔軟性を備えた基盤を提供することで、製品 / サービス / 情報などを複数の異なるレイヤーに属したユーザに提供し、Webサービスの信頼性を向上します。Liberty Allianceのフェーズ2であるID-WSFとSAML 1.1仕様を含む、最新のWebサービス基盤のサポートでこれらを実現しています。



Sun Java System Access Managerは、オープンでスタンダード・ベースのセキュアなアクセスをイントラネットとエクストラネットへ提供します。業界に先駆け、Webサービスにおけるシングル・サインオン関連の仕様を定めたLiberty Allianceのフェーズ2であるID-WSFと、SAML 1.1仕様に準拠し、現代に求められているサービスのフェデレーション化と、複数のアプリケーションに対するセキュアなシングル・サインオン環境を提供します。

主な機能一覧

Sun Java System Access Managerは、セキュリティとユーザビリティの向上、そして同時に幅広い分野におけるWebサービスへの対応を可能にする先進の機能を提供します。

機能	特長	効果
シングル・サインオン	<ul style="list-style-type: none"> • 多種多様なアプリケーションやプラットフォーム、そしてインターネット・ドメインに対してシングル・サインオン・セッションを生成 • 一貫性を持った認証の適用 	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザは1度認可を受けるだけで複数のリソースへアクセスできるため、ユーザビリティが向上 • セキュリティの向上 • パスワードの紛失に伴うユーザ・サポート・コストを削減
一元化されたアイデンティティ管理・サービス	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザの権限に対して、ロールとルールに基づいたアクセス制御を利用し一元化されたセキュリティ・ポリシーを適用 	<ul style="list-style-type: none"> • 広範囲に一貫性を持ったセキュリティ・ポリシーを適用でき、アプリケーションの開発と管理に必要なコストを削減
枠組みを超えたアイデンティティ情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> • Liberty Allianceのフェーズ2であるID-WSFとSAML 1.1の仕様への準拠により、枠組みを超えたビジネス・ネットワークでアイデンティティ情報の共有を実現可能 • 認証と認可サービスを提供し、異なるベンダーのプラットフォームで相互運用を実現 	<ul style="list-style-type: none"> • 信頼あるパートナーシップで、新たなビジネス・チャンスを提供 • 統合化効率の向上とコストの削減 • 法規制へのコンプライアンスと、HIPAA / GLBA / EU Privacy Directiveなど世界中の主要なプライバシー・ポリシーや規制に対応する強力なフレームワークを提供
J2EEアーキテクチャと包括的なAPI群	<ul style="list-style-type: none"> • 高いレベルの統合とカスタマイズが可能な、オープンで仕様に則った設計を採用 	<ul style="list-style-type: none"> • 開発者は既存のJavaテクノロジーのスキルを活かせるため、製品化に必要なコストと時間を削減
エンタープライズ・クラスの拡張性と信頼性	<ul style="list-style-type: none"> • 複数の負荷分散ポリシー・サーバ / ポリシー・エージェント / ディレクトリ・インスタンスが、高い可用性とフェイルオーバー機能を提供し、単一機能障害を排除 	<ul style="list-style-type: none"> • ミッションクリティカルなアプリケーションの、信頼性と拡張性を向上
リアルタイムな監査	<ul style="list-style-type: none"> • 認証の試行 / 認可 / 変更内容に関する最新情報の監査が可能 	<ul style="list-style-type: none"> • アクセスに関する重要な情報を容易に監査でき、セキュリティを向上

管理コストの削減

Sun Java System Access Managerは、システム管理者が複数のアプリケーションに対するユーザからの無数のアクセスを管理できるよう、セキュリティ管理の一元化を実現します。各アプリケーションにおける特定のセキュリティ管理方法を必要とせず、冗長なセキュリティ管理の必要性を無くし管理コストを大幅に削減します。さらにシングル・サインオン機構が、パスワードを忘れたことによるユーザ・サポートに要するコストを削減します。オープンで拡張可能なJ2EEアーキテクチャが、既存のIT基盤への投資を保護しROI(投資収益率: Return On Investment)を向上させつつ構築に必要な時間を削減します。

Sun MicrosystemsとLiberty Alliance

Sunは、共同利用可能な仕様と枠組みを超えた包括的なアイデンティティ管理を実現するために、業界の枠を超えて設立された世界規模のビジネス・アライアンスであるLiberty Allianceの創立メンバーです。この仕様とガイドラインによって、1つの認証された情報が複数のドメインで認識され、ユーザはパーソナライズされたサービスの提供をシームレスに受けることが可能になります。Sunは業界に先駆け、Liberty Allianceのフェーズ2であるID-WSFとSAML 1.1をサポートした製品を提供しています。Sun Java System Access Managerがサポートするこれらの仕様により、優れた操作性と既存の企業システムとの連携が可能になり、枠組みを超えて統合化されたネットワークと認証機構の構築

が可能になります。これらの仕様により、技術的 / ビジネス的な約定やポリシーが実現します。

- アイデンティティ情報に含まれる、顧客の個人情報とセキュリティを保護
- 企業は管理者の介在なしに、カスタマ・リレーションシップの保守と管理が可能
- 複数のプロバイダーから提供されている分散認証と認可機構に対応した、オープンなシングル・サインオン・フレームワークを提供
- 信頼されたドメイン間で、アイデンティティ情報の共有を可能にするSAML 1.1仕様への対応
- ロール・ベースのポリシーを実現し、法規制の遵守と個人情報の保護を支援する先進的なポリシー・フレームワークへの対応

Sun Java™ System Access Manager

サポートしている仕様とデータ・リソース

オペレーティングシステムとプラットフォーム

- Solaris™ 10 OS 3/05 on SPARC®以降、Solaris 9 OS on SPARC以降、Solaris 8 OS on SPARC以降の各リリース
- Solaris 10 OS 3/05 on x86以降、Solaris 9 OS on x86以降の各リリース
- Red Hat Enterprise Linux AS 2.1,3.0

アイデンティティ・モジュール

- LDAP
- Forms-based
- UNIX®
- Microsoft Windows Kerberos/SPNEGO
- Microsoft Windows NT
- Mobile Subscriber ISDN(MSISDN)
- Radius
- RSA SecurID
- SafeWord
- SAML
- JDBC™ Specification
- X.509 Digital Certificates
- CRL and OCSP Support
- Pluggable Java Authentication and Authorization Service(JAAS)フレームワーク

ポリシー・エージェント

- Sun Java System Web Server
- Sun Java System Application Server
- Apache Web Server
- BEA WebLogic Application Server
- IBM WebSphere Application Server
- IBM HTTP Server
- Lotus Domino
- Microsoft IIS
- Oracle®
- Tomcat Application Server

エンタープライズ・アプリケーション

- Oracle
- PeopleSoft
- SAP
- Siebel

サポートしている仕様

- JAAS(Java Authentication and Authorization Service)
- Kerberos
- Liberty Alliance Phase 2 (ID-FF 1.2, ID-WSF 1.0)
- Online Certificate Status Protocol(OCSP)
- SAML 1.1 Specification
- SOAP(Simple Object Access Protocol) 1.1
- SPML (Service Provisioning Markup Language)
- SSL(Secure Sockets Layer)
- XML Digital Signature
- XML Encryption

Sunが提供する包括的なアイデンティティ管理

アイデンティティ管理は、今日のIT基盤を成功に導くための重要な焦点となっています。Sunが提供するSun Java System Access Managerは、独自のアプローチで、求められているアイデンティティ管理を実現します。Sunはコストを削減するとともに複雑性を低減し、企業やサービス・プロバイダーのニーズの成長に応えることが可能な、包括的なアイデンティティ管理製品ラインナップを提供しています。Sun Java System Access Managerは、ビジネスの枠組みを超えてセキュアで更に容易なアクセス権限の管理と、製品とサービスの効率的な提供を実現するWebサービスへの対応を可能にします。

今、すべてをシンプルに変える

Sunは、オープンで互換性のあるお求めやすいソフトウェア・システムを各種取り揃え、IT基盤の効率的な稼働を支援しています。各ソフトウェア製品はUNIXとJavaアーキテクチャをベースにシステムとして統合され、高いセキュリティと可用性、下位互換性を備えています。Sunのソフトウェア・ポートフォリオには、Solaris OS(SPARC版およびx86版)とLinux、ダイナミックなユーティリティ・コンピューティングに最適なN1™プラットフォーム、そしてSun Java Systemが用意されています。Sun Java Systemは、企業が必要とするソフトウェアの購入 / 開発 / 管理をこれまでになくシンプルにする画期的なアプローチで、豊富な実績と広範なソフトウェア・ポートフォリオを持ち、Sun以外には真似のできないユニークな戦略です。Sun Java Systemを利用すれば、ネットワーク・サービスや基幹ビジネス・アプリケーションを迅速に立ち上げ、コストも従来以上に軽減することが可能です。余裕をもってイノベーションや競争、売上増強に専念できます。

詳細

Sun Java System Access Managerの詳細については、jp.sun.com/software/ をご覧ください。

システム要件など、最新の詳細情報は、リリースノート docs.sun.com/ をご覧ください。

サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)5717 5000(代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232 2400(代)
中部支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-4	エグゼルの内507	電話(052)203 1233(代)
大阪支社	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265 5700(代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834 0101(代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)51 2210(代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25 5701(代)
ホームページ	http://jp.sun.com/		

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2005 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク, Java Coffee Cupのロゴマーク, Solaris, J2EE, N1, JDBCは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づくものです。UNIXは、X/Open Company Ltd.が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。ORACLEは米国Oracle Corporationの登録商標です。本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。

